檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第14号　令和5年(2023年)8月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　小中高合同の学校運営協議会が開催されました（上ノ国町）

令和５年度 第１回 上ノ国町学校運営協議会

令和５年５月 30 日（火）、上ノ国町ジョイじょぐらにて小・中学校と高等学校が連携した学校運営協議会が行われ、ＰＴＡ会長や地元企業の方など、委員 19 名（高校の運営協議会委員は 15 名）が会議に出席しました。上ノ国町では、これまでも「学びの共同体」として、小中高に加え保育所とも連携した教育活動を進めており、学校運営協議会の導入に当たっても、町立校と道立高の協議会を一体的に運営するといった全道でもあまり例を見ない試みを行っています。

この日は、役員の選出、各校の経営方針の説明及び承認が行い、また、各校の校長が「『地域とともにある学校』づくり推進のために」を合言葉に、目指す子ども像を「上ノ国に遊び、学び、誇りをもつ子ども」とすること、小中高 12 年間で身につけさせたい資質、能力を共有するなど、地域、保護者、学校の三者がベクトルを揃え取り組んでいくことを確認しました。

2　１日防災学校（厚沢部町）

厚沢部町立鶉小学校・館小学校

令和５年６月 15 日（木）、厚沢部町立鶉小学校にて「一日防災学校」が行われ、鶉小学校と館小学校の児童が合同で、防災について学びました。

３時間目は、１～２年生は北海 Do 防災カルタを使い楽しみながら防災について学び、３～６年生は函館地方気象台の職員を講師に身近で起こりうる自然災害（大雨や雷、竜巻）が発生したときにとるべき行動や対応について学びました。4 時間目は、檜山振興局地域創生部危機対策室の職員を講師に、各班に分かれて実際に段ボールベッドを組み立てながら使い方を学んだり寝心地を確かめたりといった体験を行うなど、異学年の児童が協力し、楽しみながら学びを深めました。

参加した児童たちは、「災害に遭ったら、自分で判断して正しい行動ができるようにしたい。」「今回の体験を通して、段ボールベッドの作り方が簡単だと分かったので、万が一の時に自分で組み立てられるようになって良かった。」と感想を述べていました。

【段ボールベッドづくり①】

【災害についての講話】

【カルタで楽しく学ぶ】

【段ボールベッドづくり②】

3　中学生がそれぞれの思いを熱弁しました

令和５年度 少年の主張 檜山地区大会

令和 5 年 6 月 27 日、厚沢部町町民センターあゆみで、少年の主張檜山地区大会が開催され、檜山管内の各町から 16 名の中学生が出場しました。４年ぶりの大会方式となった今回は、開催町である厚沢部中学校の生徒や保護者、地域住民も会場に足を運び、出場者の発表に耳を傾けていました。

各町での予選を経て参加した出場者は、友人や身の回りとの関わりや、社会や世界に向けての意見や未来への希望を語りました。最優秀賞となった乙部中学校３年水上桜佑さんは、「食品ロスをテーマに自分たちが今できることは何か」について、また、他の出場者も「文化を受け継ぐことの大切さ」や「勉強をする意味」、「生きることの意味」など、それぞれの思いを込めて発表しました。

「発表の様子」

「出場者の集合写真」

4　上ノ国高校地学協働推進プロジェクト

キックオフミーティングを開催しました。

檜山振興局と檜山教育局は令和５年度からの３年間で、管内の道立高校と地域の結び付きを強め地域の活性化や将来の関係人口を増やすことを目的としたプロジェクト「ひやま地学協働推進事業」を進めています。本年度は上ノ国高校と連携し、「上ノ国町地域・学校 Win-Win-Win プロジェクト」と題し、高校の授業（総合的な探究の時間）を中心に、地域や高校の魅力化の推進や、地域課題への主体的な参画を促す取組を進めています。

令和５年７月 18 日（火）には、地域住民と教職員、生徒を対象に高校生が地域課題解決に取り組んだ実践例を学ぶ講演会を実施しました。講師には、日本各地で小規模校の魅力化や地域の活性化を手がける産業能率大学教授の藤岡慎二氏が招かれ、「私たちは何を、なぜ学ぶのか」と題し講演が行われました。藤岡氏は学ぶ理由を「自由が実現できる社会を作り自由に生きる力を育むため」と説明したほか、高校と地域との連携により、「地方・地域で挑戦して生きるという選択肢が増える」と話し、地域との結びつきを強め、多様な大人から学ぶことの重要さを語りました。

講師の藤岡氏

その後、町民も参加したパネルディスカッションが行われ、「上ノ国の魅力を高められるよう互いに協力したい」との前向きな声が上がりました。

協力して課題解決に
臨む体験も

地域住民も参加した
パネルディスカッション

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○　新型コロナが５類に移行し、イベント等も少しずつ活気が出てきました。今後も管内の取組を多く発信していきますので、取材依頼や情報提供などの御協力についてよろしくお願いいたします。

情報提供・アンケート
個人配信登録はこちらから！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です